

収益性向上に向けた組織改編について

2019年1月28日
株式会社 東光高岳

当社は、「東光高岳グループ 2020 年度中期経営計画」による事業の収益性向上に向けて、2019年2月1日付で、以下の組織改編を行います。

1. DX カイゼン推進本部（「DX」＝「デジタルトランスフォーメーション」）

当社グループは「東光高岳グループ 2020 年度中期経営計画」の達成に向けて、今年度よりトヨタカイゼン方式を積極的に取り入れるとともに、3D-CADデータの有効活用、マスカスタマイゼーションの実現などIT活用による生産性向上と原価低減に社員全員が一丸となって取り組んでおります。

このたび、これらカイゼンとデジタル化の活動を統合、技術を融合することで生産性向上、原価低減を一層加速・推進し、圧倒的な競争力を獲得するために、情報システム部と品質・生産統括部の生産技術の推進機能を統合します。

統合に伴い、新たに社長を最高カイゼン責任者（CKO）と位置づけ、その直轄組織として「DX カイゼン推進本部」を設置いたします。

<DX カイゼン推進本部の具体的取組について>

- ・既存の業務を極限まで合理化し、成長領域に人的リソースをシフトする仕組みの構築
- ・全社カイゼン活動とTPM（※1）活動の推進部門を統合し、人材を集結することでTPS（※2）を中心とした活動へのシフト

※1. TPM（Total Productive Maintenance）とは、設備の計画部門・使用部門・保全部門などが全員参加で生産効率を最高にすることを目標とした管理技術のことです。

※2. TPS（Toyota Production System）とは、トヨタ自動車の生み出した、工場における問題の顕在化、生産性の向上を図る生産活動の運用方式の一つです。

2. 品質統括部

より一層の「品質」の向上に向けて、事業本部ごとに有していた品質管理機能を品質統括部に統合いたします。人材の有効活用を図り、各製品、サービスの品質を横断的に管理することで、安全、品質の強化・確保に取り組んでまいります。

<品質統括部の具体的取組について>

- ・自工程保証と自工程完結の全社展開の早期達成
- ・デザインレビューの強化による製品品質の向上と継続的な定着活動
- ・不具合の再発防止強化による損失コストの低減

以上

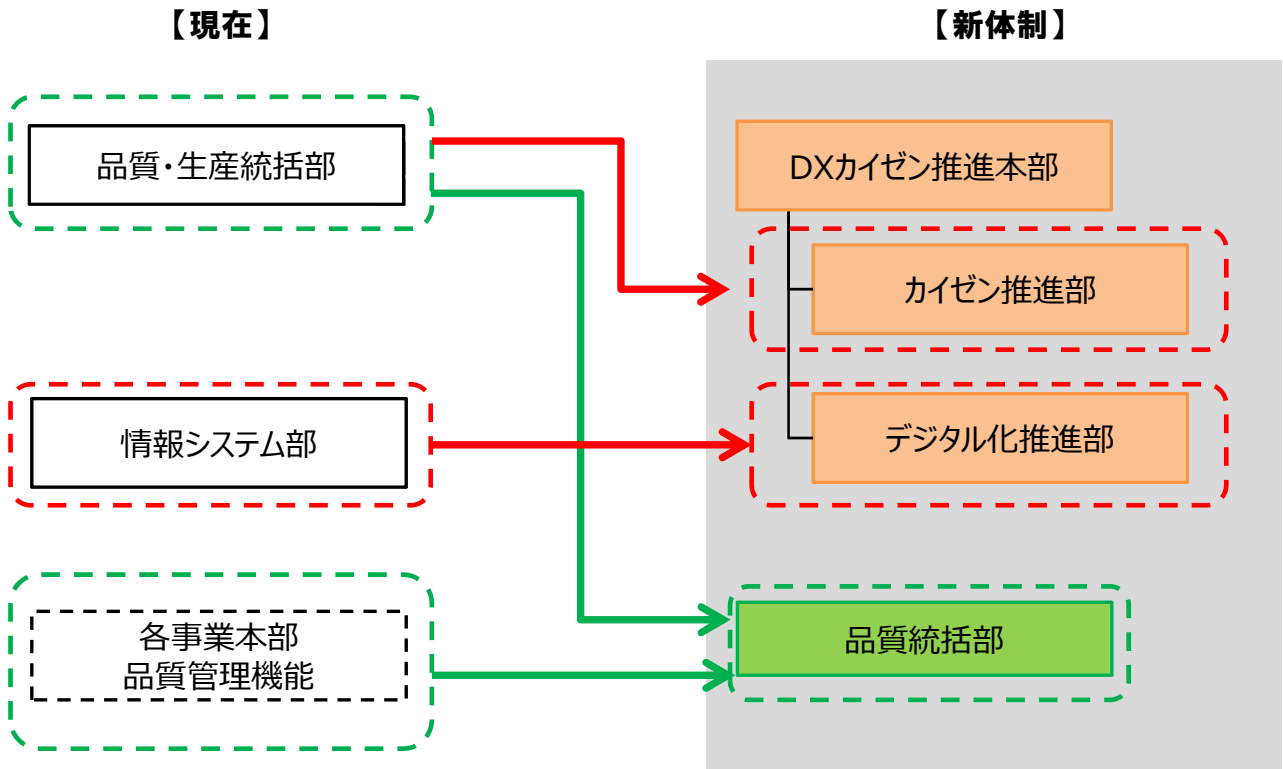
【別紙】

- ・新組織図
- ・人事異動

【別紙1】新組織図

<組織構成>

- DXカイゼン推進本部を新設
- 品質・生産統括部の生産技術部門と情報システム部をDXカイゼン推進本部内に統合
- 品質・生産統括部の品質統括部門と各事業本部の品質管理部門を品質統括部に統合



【別紙2】人事異動

1. 執行役員

2019年2月1日付

氏名	新事務委嘱	現事務委嘱
磯 守	D Xカイゼン推進本部長兼同デジタル化推進部長	情報システム部長
近藤 哲司	品質統括部長	品質・生産統括部長

2. 人事異動

2019年2月1日付

氏名	新役職	現役職
山口 昌紀	D Xカイゼン推進本部カイゼン推進部長	電力プラント事業本部 大型変圧器製造部 大型変圧器 設計グループマネージャー

以上